

02.プロローグ

あ、あの...前衛さん。
最近なにか、お困りではないですか？
その...装備のことで...。
...ごめんなさい。
盗み聞きするつもりはなかったんですが...
わたし、聞いちゃったんです。
あなたが武器屋のご主人と、話しているところ...。
新しい装備の加工に、
エルフの素材が必要なんですよね？
上級素材...『エルフの癒やし』が。
わたし、いつもあなたに守ってもらってるから...
こんなときくらい、お役に立ちたいんです。
...女性にそんなこと...頼めない？
い、いえ。
わたしも覚悟はできてます...！
『癒やし』というからには、涙とか...血とか...。
あ、あんまりたくさんは出せませんが...
あなたのためなら、わたし—
え？
...そうじゃ、ない？
『癒やし』じゃなくて...
『肥やし』？
それってつまり、うん—
...え！？
ええっ！？